

◇ 渡 邊 千賀雄

○議長（清水満） 休憩前に引き続き会議を開きます。

発言順位 8 番、議席番号 12 番、渡邊千賀雄議員を指名します。渡邊千賀雄議員。

〔12 番 渡邊千賀雄 登壇〕

○12 番（渡邊千賀雄） 議席番号 12 番、渡邊千賀雄です。質問通告によりまして順次質問させていただきます。

最初に平成 31 年度の予算編成に当たって伺います。町総合計画に基づいての実施計画に沿った予算編成であると思いますが、言うまでもなく予算編成は町長の権限であります。改めて来年度の予算編成期に当たり、編成方針の基本的考えと重点策を持っておられると思いますが、町長の基本的方針と考えをお伺いします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） お答えを申し上げたいと思いますが、予算編成につきましては、現在、各課で積上げをしている真っ最中でありまして、細かな具体的な中身については、現時点では、まだつかみ切れていないという状況であることを、まず申し上げておきたいと思います。

お尋ねの基本的な方針、考え方でございますが、従来、基調として大きく流れていますのは、やはり行政の極めて重要な職務は、貧富の差の格差是正、教育の保障、こういう人間の基本的な人権的なものについて、きちんと心配のないような対応を整備していくのが、行政としての大きな役割だと承知をしております。

したがって、その関連の予算等については、改善したものは改善としたものとして維持をし、今後、もし予算の編成の上で財源的な目安が付けば、福祉的な意味、また医療的な支援等々においても新しい事業に取り組んでいければと考えておりますが、いずれにしても具体的には今後の予算編成になると思っております。

特に来年度の特別な方針としては、町の総合計画で大きな目標にあげております「日本一のりんごの町」、そして「日本一女性が住みたくなる町」、これを大きな目標にして事業を展開し

ていくことは間違いないと思います。また、併せて総合戦略、飯綱町まち・ひと・しごとの事業も、いよいよ終盤を迎える時期になってございます。学校の跡地利用も含め、人口増対策等、本当に真剣に対応していきたいと考えております。

特別会計等につきましても、大きな悩みは今のところなく推移をしていくだろうと思っております。上水道についても、やはり例年並みの水道会計への支援はしていかなければならないと思っております。

全体として、農業関係の新しい事業、または補助の拡大等々、かなり充実をさせてきたというイメージがございますけれども、繰り返しになりますが、そういう事業を踏まえた上での人口増対策、そして今日のご質問にもございましたけれども、商工業振興策ということについても、もう少しこれからも充実をさせていきまして、若い人たちに魅力のあるまちづくりを形成していく必要があるだろうという思いから、そのような関係の予算も充実をしていきたいと思っております。申し上げたような基本的な方針で臨みたいと思っております。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 町長からの基本的な方針と考えが述べられました。では、町民からの要望の実現という観点からの予算編成に対する考え方は何かございますか。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 具体的に宿題としてもらっておりますような点については、実際に予算計上した上で話をするのが筋かもしれませんが、長年要望のあるマレットゴルフだとか、または来年度に国がどのようにやるか、まだはっきり見えてこないわけですが、消費税導入後における子供たちの保育料等々を全額行政で負担をするという中身がありますけれども、これは国が制度としてスタートするわけですが、こういうようなもの等々を細かく言い出せば、町から町単でいろいろな水路、道路等の改修の関係などもろもろございますので、それについては個々に列挙することは控えさせていただきたいと思いますが、大きな長年の宿題としていただいているようなものについては、積極的に何とか予算計上するよう努力をしていき

いと思っています。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） それでは、次にこうした町長の基本方針の下で、各分野。各課における方針と重点施策は何かについて伺います。

○議長（清水満） 原総務課長。

〔総務課長 原章胤 登壇〕

○総務課長（原章胤） それでは、私から全体的なことで申し上げさせていただきたいと思っております。

来年度の予算編成につきましては、先月、担当者会議を開催したところでございまして、まず各分野における方針でございますけれども、4つの分野を重点まちづくり事業という形で捉えております。

まず、「夢と希望にあふれるまちづくり」ということでございます。次に、「活力あるまちづくり」ということで、先ほどの農産物のブランド化、産業、仕事の雇用の創出等々の活力あるまちづくり。そして、「安心して暮らすことのできるまちづくり」ということで、教育、福祉等々の充実でございます。最後に、「にぎわいのあるまちづくり」ということで、いろいろと先ほどもご質問等々がありました。町がにぎわなければ、元気が出なければ何も始まらないということの中で、この4つの点を重点事業ということで捉えております。

そして、各課に共通することでございますが、その方針といたしましては、やはり財源、まずは何をもって財源ということでありますので、自主財源の確保です。やはり、事業財源は自ら捻出するというような姿勢を持っていただきたいということとともに国県の補助金、いわゆる特定財源をうまく活用していくということでございます。

それと、事業を行う上でPDCAサイクル、行政評価の確実な実施と事業の必要性、事業の見直し等々を洗い出させていただきたい。また、総合計画を進める上での政策になるわけですが、実施計画。この実施計画を基本に、緊急性のある事業、こういうものの洗い出し、着実な進捗、それとともに一般財源の縮減を目指していきたい。そして、国の補正予算等々がある場合には

積極的に活用していく。国の補正予算の的確な対応を図っていくということでございます。

最後に重点施策ですが、これは全体的ということでございますが、先ほども町長も申しました地方創生推進交付金事業を中心といたしまして、まち・ひと・しごと創生総合戦略の仕上げの段階に来ているということでもありますので、その確実なる進捗。

そして、役場の新庁舎の建設を進めていかなければいけない。

また、常日頃から町長が申している人口増対策を推し進めていくとともに雇用の創出、健康促進、これを最大の課題という形で捉えて、これに向けてそれぞれの課が創意工夫しながら事業展開をしていってもらうということで、ひいては若者定住等々につなげていければということで、一応全体的な重点施策を挙げさせていただきましたが、よろしく願いいたします。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 今、総務課長から全体的な方針と施策について述べられました。私、各課の担当にも、この辺の細部にわたってのことを要約的に重点施策について述べていただけたらと思っています。お願いします。

○議長（清水満） それでは、前段、重点的なことを町長と総務課長から話していただきましたので、各課からは1、2分ぐらいで簡潔にお願いしたいと思います。徳永企画課長。

〔企画課長 徳永裕二 登壇〕

○企画課長（徳永裕二） それでは、企画課からお答えをさせていただきたいと思います。総務課長から4つの分野の話がございましたけれども、企画課としましては、「夢と希望にあふれるまちづくり」ですとか、「活力あるまちづくり」という面で、先ほど町長、総務課長からの答弁にもございましたとおり、地方創生推進交付金事業の仕事の創業、自然の中、また住み慣れた、企画課はこの3つの事業を担当しておりますけれども、これを中心に飯綱町総合戦略の内容を更に進めてまいりたいと思っているところでございます。

また、関連しまして、先ほどご質問もいただきましたけれども、まちづくり公社の設立によりまして、小学校跡施設の活用をしっかりと図ってまいりたいと考えているところでございます。

また、「安心して暮らすことができるまちづくり」という面では、公共交通の関係になろうか

と思います。公共交通計画ということで、本年度、策定をしております、完成予定でございます。これを基本により良い公共交通、皆さんに親しまれるような体系作りを進めてまいりたいと考えているところでございます。

また、「にぎわいのあるまちづくり」ということでは、その根幹でございます集落の活性化という面で、集落創生事業の推進を更に図ってまいりたいと企画課としては考えているところでございます。

○議長（清水満） 桜井教育次長。

〔教育次長 桜井俊次 登壇〕

○教育次長（桜井俊次） それでは、教育委員会部門でございます。教育委員会は広い分野がございます、重点施策ということで1つだけ申し上げさせていただきたいと思います。

子育て支援施策の充実ということを来年度の目標としまして進めていきたいと思っております。これにつきましては、子育て支援センターの建設がございますので、これに力を注いでいきたいと思っております。

また、小学校が統合して2年目になりますので、小学校2校の動向を見守っていききたいと考えております。よろしく申し上げます。

○議長（清水満） 馬島税務会計課長。

〔税務会計課長 馬島豊 登壇〕

○税務会計課長（馬島豊） 税務会計課でございます。税務会計課では、町税の適正な賦課と収納率の向上に努めさせていただきます。

○議長（清水満） 梨本住民環境課長。

〔住民環境課長 梨本克裕 登壇〕

○住民環境課長（梨本克裕） 住民環境課でございます。住民が利用しやすい窓口づくり、親切的な対応等に心掛けていきたいと思っております。あと、ごみゼロにつきましては、これもまた次々と推進をしていきたいということでございます。

○議長（清水満） 山浦保健福祉課長。

〔保健福祉課長 山浦克彦 登壇〕

○保健福祉課長（山浦克彦） 保健福祉課でございます。保健福祉としましては、高齢者社会の進行に伴う関係で介護医療、福祉が連携して包括的な支援体制の更なる強化を考えております。特に、健康寿命の延伸について力を入れていきたいと考えております。

また、深沢地区に建設中の多世代交流施設の初年度となるわけですが、地域に根付いた、町の中心として活躍できる中身としていくように力を入れていきたいと考えております。

○議長（清水満） 土屋産業観光課長。

〔産業観光課長 土屋龍彦 登壇〕

○産業観光課長（土屋龍彦） 産業観光課でございますが、まず農業分野につきましては、これまでもうかる農業を目指して6次産業化、ブランド化を進めてきましたが、来年度はその成果を町民により見える形にしていきたいと考えております。現在、道の駅の基本設計を行っていますが、来年度は道の駅の第1期工事として、農畜産物の直売施設の建設工事を予定しておりますので、当初予算で予算要求をしまいたいと考えております。

続いて観光分野でございますが、観光につきましては、観光事業者だけでなく地域住民が一緒になって観光地域力を高める事業を行ってまいりたいと考えております。地域資源を活用したコンテンツづくり、都市農村交流を進めてまいりたいと考えております。また、スキー場、ゴルフ場の売却により、民間投資が想定され、町観光が大きな転換点を迎えておりますので、町としてもしっかりと応援してまいりたいと考えております。

商工分野につきましては、先ほどの一般質問でもございましたが、創業支援、空き店舗活用、企業誘致など、しっかりと対応できるような予算要求をしまいたいと考えております。

耕地林務分野につきましては、有害鳥獣対策に力を入れてまいりたいと考えております。これまでは、個人の対策を中心に行っていたわけですが、今後は集落ぐるみの総合的な対策が重要になってくると考えております。県等の協力を得ながら、集落での学習等を進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（清水満） 森建設水道課長。

〔建設水道課長 森佳也 登壇〕

○建設水道課長（森佳也） 建設水道課では、ライフラインであります道路、上下水道の維持管理、持続可能な発展を目指していきたいと思います。

また、2点目といたしまして、人口増対策ということで原田地区への若者定住住宅の建設を重点と考えております。よろしくお願ひいたします。

○議長（清水満） 大川事務長。

〔病院事務長 大川和彦 登壇〕

○病院事務長（大川和彦） 飯綱病院では、例年と変わりませんが救急医療を含みます地域医療を実践してまいります。住民の安心、安全を守ることが重要施策として考えております。

特に困難事案の1つといたしましては、医療人材の確保ということがございます。特に先生方の高齢化が進んでおりまして、その辺の人材の確保を重点的に進めてまいりたいと考えております。

それから、大きな工事の予定はございませんが、増改築後18年を経過いたしますので、医療設備等の更新が進んでおりますので、更新、修繕等については随時対応させていただきたいと思っております。

公営企業でございますので、経営の健全化を念頭におきまして、診療報酬をしっかりと確保する中で病院の運営を進めてまいりたいと思っております。以上でございます。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） ただいま町長の方針の下、各分野、各課の担当課長から話を聞きました。

これから具体的な予算編成が始まるわけでありますが、モチベーションを上げて、発揮して活力あるまちづくりを更に高めていただきたいという思いから今お聞きしました。更に練り上げて実施してもらいたいと思うわけであります。住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を上げるような取組を進めていっていただきたいと思うところであります。

総括して、もし見解ありましたら最後に町長お願ひします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 議員の所属する党からも毎年要望書をいただいて、私よく答弁していますが、ほとんどクリアしていますから、是非、ご理解をいただきたいと思います。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） また近いうちに出したいと思っていますので、よろしくお願いします。

それでは今、一通り町からの話をお聞きしたわけですが、具体的な施策について私からお尋ねしたいと思います。

1点目は、先ほど庁舎建設の話も出ましたが、庁舎建設の計画の進捗状況と実施計画、これが具体的にどうなっておられるのか。そして、各部署、町民要望が反映されたのかということについてお伺いしたいと思います。

○議長（清水満） 原総務課長。

〔総務課長 原章胤 登壇〕

○総務課長（原章胤） それではお答えいたします。進捗状況でございますが、新庁舎建設に当たりましては12月広報でもお知らせいたしました。旧館の取扱いでございますけれども、旧館は解体していくということでございます。

現在、基本設計を来年の3月までの期間で作成しているところでございます。それとともに、駐車場用地の確保という観点から、今、用地交渉を展開しているところでございます。実施計画でございますが、基本設計完了後、実施設計に入るわけですが、旧館の解体をまず行いまして、これを来年の8月頃から開始いたします。それで、新庁舎の建設は来年の11月頃に着工できればという予定で、約12か月、1年を掛けて建設してまいりたいと考えております。

また、ここの庁舎でございますが、耐震も含めた総合的な改修を行いまして、新しい庁舎が完成した後、この現庁舎を改修していくという予定でございます。

各部署、町民要望の反映という件でございますが、新しい庁舎のレイアウトでございます。これにつきましては、係ごとの単位で職員の意見聴取をしたところでございます。また、町民要望につきましては、旧館のあり方の時にありました住民説明会、パブリックコメントの意見

聴取等々、また広報等を通じましてご意見が寄せられておりますので、それに基づきましていろいろと検討してまいりたいと思っております。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12 番（渡邊千賀雄） 今、基本設計を3月までに仕上げ、11月に着工したいという具体的なお話を聞きました。それで、旧館のことは町民の皆さんからもいろいろ提起されていると思うわけですが、町の方針で取り壊していくということで、私は旧館の資料保存、要するに旧館の大事な観点である資料をしっかりと保存して残していく。そのことが今の段階では求められているのではないかと思います。

この間、いろいろ調査されたり報告されたりしました。そういう点もしっかり記録と資料で保存する方法が良いのではないかと思いますので、その点を含めて進めてもらいたいと思います。

それで、議会関係で言えば、やはり設置が義務化されております議会図書室、また監査委員の執務室などへの配慮、対応はどのように考えておられるか、その辺をお聞きしたいと思います。

○議長（清水満） 原総務課長。

〔総務課長 原章胤 登壇〕

○総務課長（原章胤） 新しい庁舎は敷地が限られておりますし、事業費等々もありまして建築床面積が限られております。

基本的には議会の議場、それぞれの会議室、議会事務局室、議長室等々は設けていかなければいけないと基本的に思っております。それで、先ほど議員お尋ねの図書室等々は、今、初めてお聞きしましたので、それが可能かどうかは今の時点では分かりません。お聞きしましたので、反映できるかどうか今後確認の作業に入っていくと思っております。監査委員室も同様でございます。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12 番（渡邊千賀雄） どちらも非常に大事な部署でありますし、計画の段階で敷地も若干広が

るような報告も聞いておりますもので、この辺のことにもしっかり配慮していただいて、充実した庁舎建設をしていただきたいと思います、町長、その辺も含めて考えていただきたいと思います。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 役場庁舎というのは、50年、60年に1回のことですので、本当に慎重を期して臨みたいと思っておりますが、しかしながら事業費を非常に小さい枠の中で設定をしてございますので、どこかに我慢をしていただくとか、節約をしていただく部門も出るのではないかと考えているのですが、できるだけ町民の要望に応えられるようなものにしていきたいと考えています。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 次に2つ目の具体策についてお聞きしますが、福祉灯油の実施についてお伺いしたいと思います。

この質問を出す時点では、今回の町からの議案の内容も分かりませんでしたけれども、今、灯油価格の高騰と厳寒期が迫っております。来年度の予算を待たずに実施していくべきではないかと思うわけでありまして。この福祉灯油は地域の経済効果にもなりますし、福祉対策にもなるという点でもあります。実施されるようなことにもなっておりますが、是非、その辺を確認したいと思います。よろしくお願ひします。

○議長（清水満） 山浦保健福祉課長。

〔保健福祉課長 山浦克彦 登壇〕

○保健福祉課長（山浦克彦） お答えします。福祉灯油の実施についてですが、過去にも24年、25年に実施されております。この時も高騰しておりました、今年につきましても同様に春先から高騰しております。

現段階で一番高騰を迎えたのは10月29日で1,974円。18リットル当たりの配達価格です。これをベースに検討いたしまして、実施することにいたしましたので今回の補正で対応させて

いただくようにしております。よろしく申し上げます。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 実施するということでもありますもので良いことだと思います。以前のアンケートにもありましたが、寒い時は布団かぶってじっとしているといったことのないように福祉の心を発揮しての取組が非常に大事だと思います。本当に高騰しておりますし、寒くなり時宜を得た施策だと思いますもので、この点は評価しながら実施していただきたいと思います。

次に、町内における各種、各地の案内、あるいは紹介などの標示板の改修、新設については、以前、私も提起したわけですが、その辺がどうなっているかをお聞きしたいと思います。

東高原の観光事業、スキー場事業も新たな発展段階を迎えてスタートしました。また、町全体が活気を出すためにも看板、そしてまた案内板の改修が必要だと考えるわけですが、その辺に対しての考え方を伺います。

○議長（清水満） 土屋産業観光課長。

〔産業観光課長 土屋龍彦 登壇〕

○産業観光課長（土屋龍彦） それでは答弁いたします。まず、平成29年度、30年度においては、老朽化して景観を害するような観光案内看板の修繕、撤去を実施しているところでございます。

大規模なものでは、昨年度、国道18号線から飯綱東高原方面に入るアーチ状看板をリニューアルさせていただいております。また、本年度につきましては、老朽化して観光地にそぐわないため住民から撤去要望が出ていた大型の案内看板を年内に撤去する予定でございます。

町といたしましては、観光を含めた案内看板につきましては、まずは既存看板の修繕、撤去を中心に進めて、新規の観光案内看板等につきましては、もう少し時間を掛けて検討していきながら、費用対効果の高いものから必要に応じて順次、整備をしていきたいと考えております。以上でございます。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 私も以前に町内にある各種看板、案内板を調査して写真付きで提起した

ことがあります。ですから、そういう点も参考にいただきながら、今の方針を進めていただきたいと思うわけであります。

次に、町の基幹産業である農業を支える小規模農業や家族農業の支援策を拡充し、強めることはどうかという点でお聞きしたいと思います。

前日も小規模農家についての一般質問を行いました。そのことに対して非常に共感と関心が寄せられまして、期待の大きさを感じたところでありますので、まずこのことに対しての見解をお伺いしたいと思います。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 農業の関係については、議員おっしゃるとおりきめ細かな支援策を申し上げてきているという気持ちであります。

今、議員がおっしゃっている趣旨が、こうやって展開してきていることについての町長としての評価はどうだというようなことであれば、これは認定農業者しか対象になっていない事業もございますけれども、今、認定農業者以外の皆さんにも苗木の補助から始まり、もろもろの支援策もございますし、私は精いっぱい支援をしてきているし、農家の方もかなり喜んでもらってご理解をいただいていると評価をしております。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 今の町で行われております小規模農家支援策はいろいろあると思います。

このことに対しても、町民は非常に好意的に受けているということではありますが、先ほど町長も言われました、認定農家になれない農家も同じ担い手でありながら非常に苦労しているという点に対しての支援策をお伺いするわけではありますが、具体的には農機具の購入補助などはどう考えるかということです。

私も前回の一般質問で触れた時に一般の方にも言われたわけですが、是非、その点も考えてもらうようなことも進めてもらいたいということです。認定農家になれない担い手農家の位置づけをどう考え、どう対応してくかということも含めてやってもらいたいということが非常に

出されたもので、今回、再度この問題を町に提起しているわけですが、その辺の考え方をお伺いしたいと思います。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） いわゆる農業で生活していこうという皆さんへの認定農業者対象の支援というのは、十分やっっていこうというつもりで臨んでおりますけれども、議員がご提案のことについては非常に気持ちとしては理解できます。小規模と総称しておっしゃいますけれど、どの程度の経営面積でいうのか、どの程度の農業収入でいうのか、そこら辺が微妙でございますけれども、議員の中にも新たに野菜やとうもろこしを一生懸命作って、非常に良い意味での農業というものの良さ、面白さ、重要性を感じていただいている向きもございます。

トラクターの1つぐらい何とかならないかという気持ちもあるわけですが、昨年、大幅に認定農業者を対象にして枠を広げたところでございます。頭からまるきり話にならないなどという答弁をするつもりはございませんけれども、本当にやる気になってもらう意味も含めて、どういった支援の方法があるのかと検討はさせていただきたいと思っておりますけれども、すぐ来年度予算に反映していくというのは、少し時期尚早と思っております。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 時期を見ながら大いには取り組んでもらいたいと思うわけですが、先ほど町長も言われました苗木の補助もやっている。確かにこうやってみると、野草駆除、それからフェロモン防除とか、いろいろ農業政策やっているわけです。ですから、私はこれをやはり町民の皆さんにも知ってもらうことも大事だと思うわけです。農機具の補助をこれから考えてもらうことも含めて、こういったこともやっているといったことを知らせて町民が制度を大いに利用してもらうということが必要だと思うわけです。

そういう点で言えば、今、口で言われました苗木などいろいろあります。そういったことを一覧表にしなが、こういった施策やっているので利用してくれということをお小規模農業者の皆さんにも見ってもらう。そしてまた利用してもらう。そういったことの一助になると思うわけ

ですが、そういう考えはどうでしょうか。

○議長（清水満） 土屋産業観光課長。

〔産業観光課長 土屋龍彦 登壇〕

○産業観光課長（土屋龍彦） 貴重なご提言をありがとうございます。例えば、今年度に限って
いうと、広報でも宣伝はしたわけですが、鳥追いのカイトの補助制度があるということも多く
の町民の方が知らなかったということもございますので、正に今、飯綱町は小規模の農家が
いつまでも元気で農業を続けられるように様々な支援策行っておりますので、そういった支援策
を一覧にまとめて農業者の皆さんが本当に分かりやすく、申請しやすい体制を整えていき
たいと思っております。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） これはすぐできることですので、是非、進めてもらいたいと思います。
後でも触れますけれど、ゼロ予算事業の1つになるのではないかと思うわけでありますもので、
是非、進めていただきたいと思います。

次に、町内の主要箇所には公共トイレの増設置、整備を図り、トイレをマップに落とすなどし
て、トイレマップみたいなものの作成が考えられないか。ということは、観光地はもとより農
村景観を売り物にしている飯綱町にとっても、非常に細かな配慮で大事なことはないかと思
います。また、緊急時には、避難所と同時にトイレが必須条件になるとも考えられますが、公
共トイレの増設置、整備についての考え方を伺います。

○議長（清水満） 梨本住民環境課長。

〔住民環境課長 梨本克裕 登壇〕

○住民環境課長（梨本克裕） 最初に今、当課で管理している現状ですが、公衆トイレの関係で
は、牟礼駅前、旧三水庁舎の跡、それと古町区の国道待避所の3か所でございます。倉井区
の公衆トイレについては、保守管理を含め倉井区に委託料をお支払いする中で管理をお願いし
ているところでございます。

新たな増設置という話ですが、今のところは新たな設置をする予定はございません。トイレ

マップの作成についてですが、トイレマップのみの作成ということまでは考えていないわけですが、町でマップを作成するとか、そういうことがありましたらトイレの位置をそこに表示していくことは可能だと思っております。以上です。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 今あるトイレ箇所を知らしめていくことも大事でありますし、今後の中で是非、考えていただければと思いますがよろしくお願いします。

○議長（清水満） 徳永企画課長。

〔企画課長 徳永裕二 登壇〕

○企画課長（徳永裕二） トイレの関係ですが一例だけ申し上げておきたいと思っておりますけれども、新たな設置につきましては、なかなか費用ですとか維持管理等の問題もあろうかと思っておりますし、もう1つ公共的な施設を有効活用できたということ、たまたま今、袖之山の公民館を建て替え中でございますけれども、袖之山の新しい公民館を活用してということで、枝垂れ桜の時期でございますけれども、区と覚書等を結ぶ中で、公民館のトイレですとか、駐車場、そういったものを利用させていただくことも計画をしているところでございますので、ご承知おきいただきたいと思っております。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 是非、そういったことを広げていただきたいと思うわけでありまして。

次に、思い切った人口増対策をどう考えるかという点でお聞きいたします。今、ご承知のように各自治体、どこの町村も人口増対策は掲げている施策であります。そしてまた、町長選、町議選という時にも必ず公約等で挙がる人口増対策であります。

私は、ここに町民の知恵とアイディア、ヒントを募り、町民力の發揮に依拠することも非常に大事ではないかと、そういったことで考えることはどうかという点でお伺いしているわけですが、いかに転出を抑えて転入を図る、このことも非常に人口増対策の1つだと思っております。このことも町民の力を借りて、町民の皆さんの周りにそういう人がおられたら、なるべく町に住んでもらう。そうすれば、この間の町長ではないですが交付税も増える。そしてまた、そのこ

とによって町も活気づくということもありますので、是非、町民の力を借りて、転出を抑えながら転入を図るといった考え方でいろいろ取り組むことがどうかと思います。

私は、町民の皆さんに個人の考え方のヒントを出してもらって、夢と希望を持つチャンスとして、身の回りから考えてもらうようにすることも1つの取組ではないかと思うわけですが、その辺の考え方をお聞きしたいと思います。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） ありがとうございます。私ども役場当局だけで考えても、なかなか良いアイデアが浮かんでこないというのが実態でございます。人口増は、いろいろなものを加味した結果として現れてくるものだと思っております。

去年から行っております事業チャレンジ、いろいろなご提案をいただくような催しもやってきましたけれども、そのような中に私ならばこんな住宅像、こんな所だったら私が住みたくなる、そのような提案をいただくような機会も作っていきたいと思っております。

また、集落創生の事業を進めているところでは、ある地区からは住宅用地の提案を2か所、3か所と代表の方が持って来られて、是非、若者定住などの住宅用地として適地を紹介するから、町として動いてほしいといったご提案をいただいたところもございました。そのようなものも利用しながら、ご意見を参考にして、やはり思い切った人口増対策に手を付けたいと思います。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 思い切ったというのは非常に大事だと思います。ですから、そういう取組を進めてもらうように考えてもらいたい。

それで、私は思うわけですが、やはり住みやすく通いやすい飯綱町、要するに地元で工場誘致、それから働く場の確保はもちろんですが、飯綱町に住みながら、近隣の町村に通いながら生計立てるといった場合に、住みやすく通いやすい飯綱町をキャッチフレーズにして、都市近郊型の町としての条件整備等支援策を拡充していくことが非常に重要ではないかと思うわけ

ですが、その辺に対しての見解をお伺いします。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 飯綱町はそういう顔を持った町だと思います。そこにプラス 200 万とか、300 万ぐらいのサブの農業収入なども付いて回っているとなれば、ますます最高だと思っています。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12 番（渡邊千賀雄） この辺は異論のないところでございますので、是非、進めていただきたいと思うわけであります。

次に、先ほど少し触れましたゼロ予算事業の取組を考えることはどうかという点で、提案型等を提起したいと思います。このゼロ予算事業というのは、特別な新たな予算を伴わずに職員の皆さんの創意工夫や町民の皆さんとの協働などにより、新しい発想で町の活性化や町民サービスの向上等に役立つ事業を立案し、取り組むことだと思っております。

私、調べてみますと既に実施している自治体もかなりあることが分かりました。そして、長野県も非常に先進的であることが分かりました。長野県は 03 年度から導入されておりまして、この辺については副町長も御存じだと思います。

埼玉県春日部市で非常に取り組んでおられまして、この市では平成 20 年度に 80 事業でスタートしたわけですが、平成 30 年には 200 事業の実施をしているという報告がありました。ゼロ予算事業の特長は、1 つは市民と職員との協働。2 つ目には創意工夫の事業展開。3 つ目には市が保有する、あるいは町が保有する資産を最大限に活用する。特長の 4 つ目には積極的な情報の発信をして、ホームページや広報等で実施事業を報告している。それから 5 つ目には事業コストの削減、つまり結果として行政コストの削減が図れる。こういう 5 つの特長があるということで位置づけて、春日部市では実行しているといったことがあります。

非予算的手法であるため、予算がほとんど伴わないために企画、立案から実行まで迅速に行えるという利点もあるし、議会の議決も必要のない部分もあるわけですね。そういうことであり

ますので、是非、研究、検討して、ほかの自治体の例も研究しながら取り組むことはどうかと思うわけですが、ほかの自治体でも取り組んでいるところがあると思う。その点で研究、検討しながら実行することはどうか考え方をお聞きしたいと思います。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） ゼロ予算事業については、ちょうど10年ぐらい前になりますか、私は原稿を書いた方ですが、町長の予算のあいさつの中に本当に盛んに触れたような覚えがございます。国がオイルショック等々で財政が厳しくなって、それでゼロ予算ということでございますけれども、私は常に職員として、行政として考えていかなければならないと思っています。特別にゼロ予算とクローズアップされたご質問にはなりますけれども、いつもゼロ予算的なことができなにかということは、当然のことに考えていかなければならないご指摘だと思っております。

これからも職員地域担当制等々も含めて、ゼロ予算事業、いろいろな意味で各課において検討していきたいと思っております。

○議長（清水満） 渡邊議員。

○12番（渡邊千賀雄） 是非、検討して、そしてまた進めていただきたいと思うわけでありまして。

私、ここで提案型としてお聞きしたいと思うわけですが、今、話しました人口増対策やゼロ予算事業にも関係するわけでありまして、町民のアイデアや思い付き、ヒント、そしてまた提案、提言、要望などを、気軽に、自由に投書できるような一言投書箱を有効な場所に設置して、活用することはどうかということを提案したいと思います。

以前、町長のホットラインというのがありましたが、今はやめています。ですから、そういう点で言えば、町長のホットラインは、町長がいる時間帯に電話をくれということでしたけれども、私が提案するのは投書箱、かつての言葉で言えば目安箱みたいなものです。要するに投書する側の自由な時間に投書ができる。ですから、時間を区切ってではなく、投書する人の生活スタイルに合わせて投書できる。思い付いたとき、そしてまた役場へ来たときなど、そういう行動したときに日常の中で思い付きがあったこととか、今、指摘していますゼロ予算、それ

から人口増対策など、そういったことに対しての日常的に提言をいただくといった点で、これも1つのゼロ予算だと思うわけです。ですから、アンケートなどを実施することも大事ですが、こうやって町民の力を投書箱に入れてもらうといった単純なことであるかもしれないですけども、このようにやりながら町民の意見や要望を聞いていくことはどうでしょうか。

○議長（清水満） 峯村町長。

〔町長 峯村勝盛 登壇〕

○町長（峯村勝盛） 決して悪いことだとは思いません。今、病院では同様の投書箱的なものがございます、毎月、私の方にまとまった意見が回覧で回ってきております。良かった点や病院に対していろいろ要望する点、苦情等、いろいろなご意見が載っております。それを基に病院の経営を改善していくとか、職員の資質を上げていくとか、それと同様に町に対してもそういう形で提案をいただいたり、叱責をいただいたりという内容にはなろうかと思えます。

町長のホットラインは年間に10本あるかないかで、同じ人が同じ問題で3、4回電話してくるという中で、しばらくお休みをしようとなったわけですが、今、広報の中にもご意見を出していただきたいという道も残っておりますし、もちろんネットなどもございますし、特別なお便りをいただくのもございますけれども、そういう目安箱的、投書箱的なものを設置する方が今風で良いのか、昨日、目須田議員からありましたように政策モニターになるのか、政策サポーターになるのか、そういう人たちを増やして意見を聞くの方が、もっと建設的ないろいろな深い意見が聞けるとか、いろいろ研究はさせていただきたいと思えます。そして、ある意味ではパソコンを使えない人でも自分の意見が言えるような道をきちんと作っておくというのは、私は優しい行政だというふうに思います。

ただ願わくは、無記名で意見をおっしゃるよりも、なるべくお名前を名乗って意見を言っただけのような社会になっていけば一番良いと思えますけれども、ご意見を参考にさせていただきたいと思えます。

○議長（清水満） 渡邊議員。3分を切りましたので、まとめてください。

○12番（渡邊千賀雄） 私もこの件についていろいろ聞いてみたら、是非やってもらえというこ

とも聞きましたので、ここでお伝えしながら、是非、検討していただきたいと思います。要するに町への関心、活力、まちづくり、そしてまた自分たちの意見が反映できる町政を進めてもらいたいということの表れだと思って、是非、実行していただきたいと思います。

今回、予算編成時期を迎えていろいろ提案型で質問しました。是非、生かしていただきますように願ひまして私の質問を終わります。以上です。

○議長（清水満） 渡邊議員、ご苦勞様でした。

以上で午前中の日程が終了しました。

これより休憩としたいと思います。再開は午後1時でお願いします。